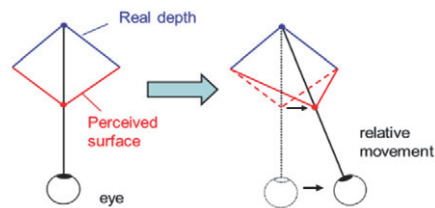


用途・応用分野

人目を引く看板広告の制作、展示会やイベントの演出

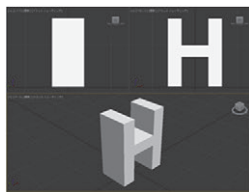
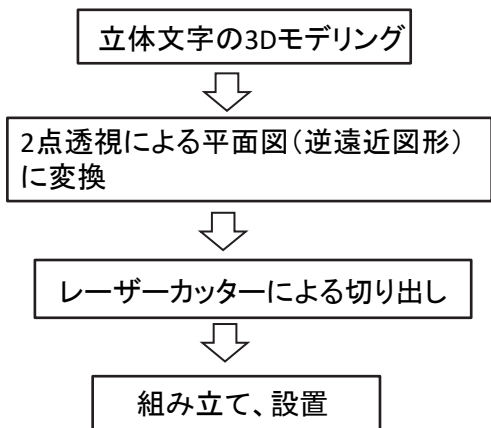
本技術の特徴・従来技術との比較

- トリックアートに利用されている逆遠近錯視を文字看板に適用する
- 錯視により、3次元の立体文字が歪んで動いているように見える
- これまで、1点ずつ手書きで制作されていた看板を、3Dモデリングとデジタルファブリケーションにより製造可能とした



逆遠近錯視の仕組み

技術の概要



3Dモデリング



2点透視による平面図の作成



文字の切り出し、組み立て、支持具で壁に固定

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

文字フォント



立体文字看板

特許・論文

<特許>

- 「錯視立体文字を用いた広告類」 (特開2014-081550)

<論文>

- 林武文, 東崎百香, Norman D. Cook: 逆遠近錯視を用いた立体看板の研究 - デジタル工作による文字看板の制作と評価 -, 電気学会 電子・情報・システム部門 知覚情報研究会資料, PI-20-036, pp.11-16 (2020-03).

研究者

林 武文

総合情報学部 総合情報学科

林 武文研究室

お問い合わせ先

関西大学 社会連携部 産学官連携センター

TEL: 06-6368-1245

MAIL: sangakukan-mm@ml.kandai.jp